

## 市民活動サポートセンター運営協議会 第21回市民参加部会報告書

<開催日時> 令和6年3月14日(木) 13:30 ~ 15:30

<開催場所> 市民活動サポートセンター

<出席者>

市民参加部会： 依田委員・南山委員・谷合委員

市民協働課： 原口副主査・小山主事

社会福祉協議会： 八東さん

広報委員会(コーディネーター連絡協議会)： 斎木さん

<欠席者>： 柴田委員

[配布資料] 次第

第21回市民参加部会作業スケジュール

市民活動パネル展示参加団体一覧

未来アートワークショップ企画書

市民活動スタートアップ応援企画案 ver2

市民活動サポートセンターレイアウト案

**参考資料**

R4年度市民活動サポートセンター利用者数集計表

R5年度市民活動サポートセンター利用者数集計表

第9回夏休みボランティア体験受け入れ団体募集チラシ

## 次第

### 1 報告

#### 1. センターイメージチェンジ事業

配布された市民活動パネル展示参加団体一覧に基づき、活動パネル展示の申し込み状況を確認し、すべての月について、第一希望の団体の出展を決定した。8月については、追加募集を行うこととなった。8月分の追加出展団体には6月中に決定報告を送りたいので、今回の出展団体報告に合わせて、追加募集開始の連絡を発信することとなった。(5月末には締め切り)

企業出展についても、7月以降の出展企業を随時受け付けることを案内することとなった。

#### 2 今後の事業の準備スケジュールについて

##### 2-1 広がったサポートセンターの活用について

市民活動サポートセンター見取り図とFACE5階フロア見取り図と先月の議事メモなどをもとに、このスペースの活用方法について、検討した。

新レイアウトは4月1日からの運用を目指す。

キッズスペースとしては日の当たるキューブの中に利用希望が入った時のみ設置する。(常設はしない)

プロジェクターやスクリーンを利用した打ち合わせができるスペースを奥まって静か西側に設置する。垂直投影できるプロジェクターがあると打ち合わせに便利。

交流利用スペースは団体登録をしていない人でも利用できるスペースとして検討している。

パネル以外の実物を展示できるスペース(展示棚)なども作れるとよい。

フリートークができる場所としては、テーブルは小さなものが複数あるほうが入りやすい。小型のホワイトボードや黒板のようなものがあると話が活発になる。

受け付け位置については変更修正ができないとのことであったが、入り口正面に受付があるよりは入り口の左右両側に 2 箇所に分けて配置する方が中に入る人に目が配れて、利用される人が必ず受付を通るようになるという意見もあった。

団体利用スペースのテーブルは移動が多いのでキャスターを付けられるとよい。

サポートセンターの利用者数について、参考資料を参考に確認した。

## 2-2. 市民交流参加事業

### 2-2-1 夏休み 親子ワークショップ企画について

未来アートワークショップ企画書をベースに夏休みに実施することを想定したワークショップの概要について、シモジマの担当者と協議するベースを作成することを想定して議論した。

次年度の企画にはこれまで以上に”市民活動につながる要素”が必要ということになり、そうした要素をこのワークショップ企画にどのように盛り込むかを中心に検討した。

開催日	令和 5 年 8 月中
開催時間(予定)	13:30~15:30
対象	案 1 小学生と保護者 案 2 中学・高校生(夏休みボランティア体験) 案 3 一般市民
定員	30 - 40 名
参加費	無料
参加者決定方法	先着順
参加申込み受付期間	6 月中旬から 7 月末締め切り
当日の運営スタッフ	シモジマ + 市民団体

ワークショップの目的	案 1 自分の住んでいる船橋市を知って、子供新聞を作ってみよう 案 2 船橋市内の地域課題・地域の問題に取り組む市民団体をしらべて、紹介ポップを作ってみよう。 案 3 地域課題・地域の問題の解決に取り組む市内の市民団体を紹介するポップを作り、地域活動紹介マップを作成しよう。
具体的なゴール	案 1 一人ひとりが子供新聞を作る。(完成したした子供新聞のコピーをパネルにまとめて展示する) 案 2 船橋市市民団体マップを完成させ、市民活動サポートセンター内に展示する。 案 3 船橋市市民団体マップを完成させ、市民活動サポートセンター内に展示する。

#### 補足説明

案 1 では、小学生の夏休みの宿題になるようなものが望ましい+保護者に地域で活動す

る市民団体を知ってもらう

案 2 では、中学・高校生は夏休みボランティア体験を市民参加部会として受け入れ、ボランティア体験の一環として船橋市市民団体マップ作ってもらう。

案 3 では、市民参加部会で企画している市民活動初めの一歩企画につながるワークショップとして、自分が住んでいる地域で活動している市民団体を知ってもらう機会づくりにする。

案 2, 3 の制作物は wish tree 形式で後から市民が自分の希望やリクエストが書き込めるような形で、サポートセンター内に一定期間展示することを想定する。

### 2-2-2 市民活動はじめの一歩ワークショップ(南山委員)

市民活動スタートアップ応援企画案 ver2 に基づいて、南山さんから概要が説明された。

夏休みワークショップや市民活動フェアなどの行事予定も考慮すると下記のようなスケジュールが妥当ではないかということになった。

#### <スケジュール案>

6-7月 フェア実行委員会の議論と並行して新年度市民参加部会で企画の詳細を検討、講師選定

8月中 詳細に内容検討

9月上旬 公報ふなばし用原稿提出

11月中旬 市民活動フェアと共に広報ふなばしで告知、参加者募集

12月 市民活動フェア内の企画への参加を第1回とする。

内容：“地域でつながる活動の始め方”等の内容が含まれる講演会

想定されている講師(案)：和田義人氏(千葉商科大学人間社会学部教授)

1月 WS② ちょっと先行くセンパイの話を聞いてみよう！

内容：実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞く

想定されている講師(案)：船橋パパ会代表 高橋利明氏+ ワーキングマザーの会

2 or 3月 WS③ めざせ地域活動発表会

→ 4月から新規登録・活動団体として動き出せる団体ができることを目指す。

以上

<次回開催予定> 令和6年4月17日(水)10:00~

場所：市民活動サポートセンター予定

部会報告作成担当者

谷合委員 次回担当谷合